



「なぜ」から始まる科学的思考文化の進化

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。「なぜ」から始まる科学的思考文化の進化を重点努力目標として教育活動を行っています。

■ 有法子「経済・国際発表会」



10月26日(月)7時間目に、クラスの代表生徒が各テーマについて発表しました。「経済」では、西条の課題を踏まえて、地域経済を活性化させるアイデアについて、研究計画を発表しました。「国際」では、高校生にできる多文化共生プロジェクトの研究計画を発表しました。双方とも今後の具体化が期待されます。質疑応答の時間には、活発な意見交換が行われました。西条市の経済や多文化共生について、身近な問題として考える良い機会となりました。

■ 有法子「プレ課題研究」

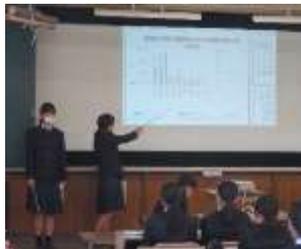


1年生は1学期から「防災」「医療」「経済」「国際」をテーマに西条市の課題について学んできました。この4分野の学習を踏まえて、さらに知りたいことや解決すべきことなどについて、グループで研究を進めています。この活動は、2年生の「マルチサイエンスⅠ」に向けた事前学習であり、2年生では、全員が週2時間の授業で1年間課題研究に取り組みます。



■ 「マルチサイエンスⅠ」中間発表会

11月5日(木)に「マルチサイエンスⅠ」中間発表会が本校で行われました。



● マルチサイエンスⅠ (A・B 講座)

国語、地歴公民、保健体育、美術、音楽、英語、家庭の各講座で今年度取り組んできた課題研究について、ポスターやパワーポイントを用いて発表を行いました。どの講座も質疑応答が活発に行われ、聴衆の1年生からも積極的な質問やコメントがあり、充実した中間発表会になりました。



● マルチサイエンスⅠ (C・D 講座)

数学、情報、物理、地学、化学、生物の各講座で今年度取り組んできた課題研究について発表し、活発な意見交換を行いました。大学、学術機関の先生方や他校の先生方からアドバイスをいただき、今後の研究を深める上で、大変貴重な機会となりました。

